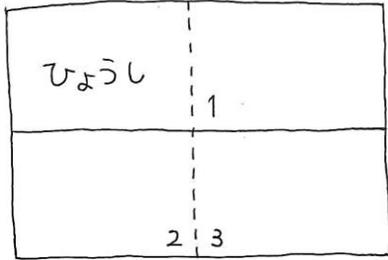




えほんのつくりかた

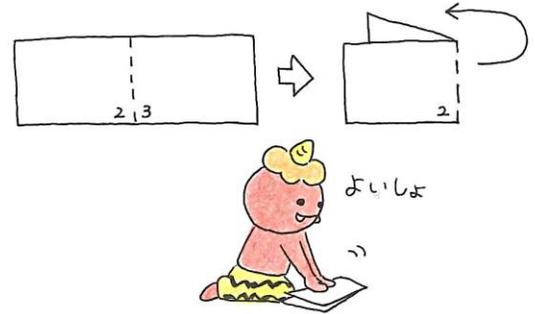
1 よこむきに  
いんさつします。



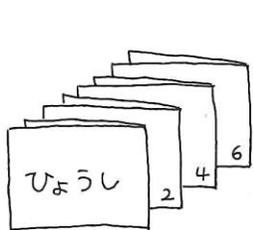
2 キリキリにそって  
はさみで切ります。



3 やまおり---にそって  
やまおりします。



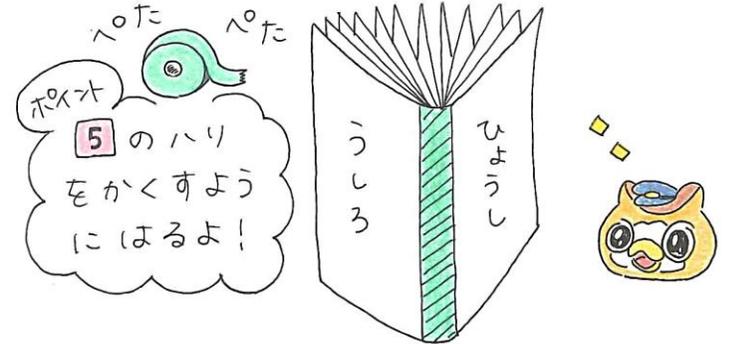
4 ページのじゅんばんに  
ならべます。



5 やまおりではないほうを  
とじます。



6 ■ にすきなテープを  
はりつけたら、かんせい!!



# つみきおに



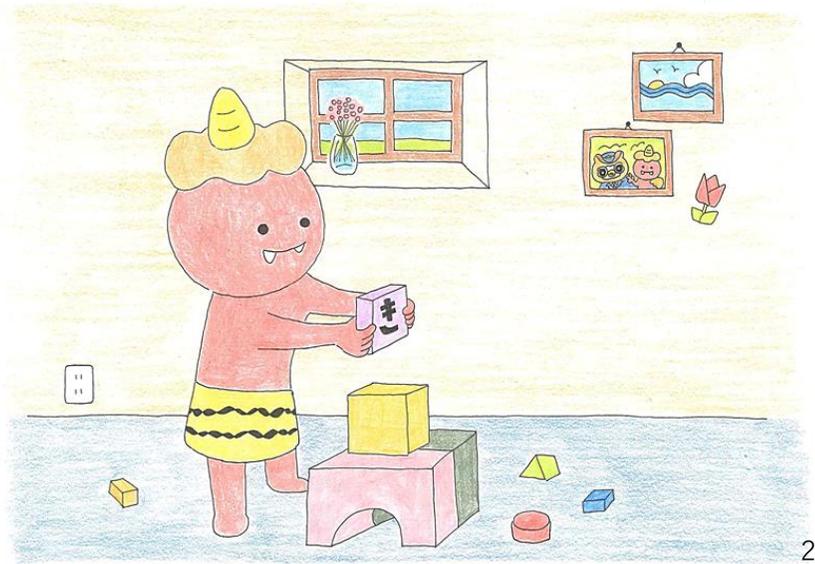
あいちけんけいさつ さく えほんぽりす

やまおり

1

あるまちに、  
つみきがだいすきな  
あかおにがすんでいます。

きりとり



2

やまおり

3



あかおには、まだちいさかったころ  
もりでであったオオカミに  
「アメをあげるからおいで」と  
いわれて、ついていきました。



4

やまおり

そして、あやうく  
たべられてしまうところを  
コノハけいぶに  
たすけてもらいました。



5

きりとり



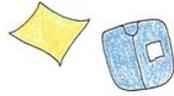
6

やまおり



7

あかおには、



「もう、こわいおもいはしたくない！」

とおもいました。

なので、コノハけいぶに“ぼうはん”

についておしえてもらうことにしました。

8

やまおり

やがておおきくなったあかおには、  
みんなにも“ぼうはん”のたいせつさを  
してもらうために、  
あいことばをかんがえました。



それは...「つみきおに!!!」

9

きりとり



10

やまおり



11

「つ」は、ついていかない！

「おかしをあげる」  
「おかあさんがけがをした」  
といわれても、知らない人には  
ついていかない。

12

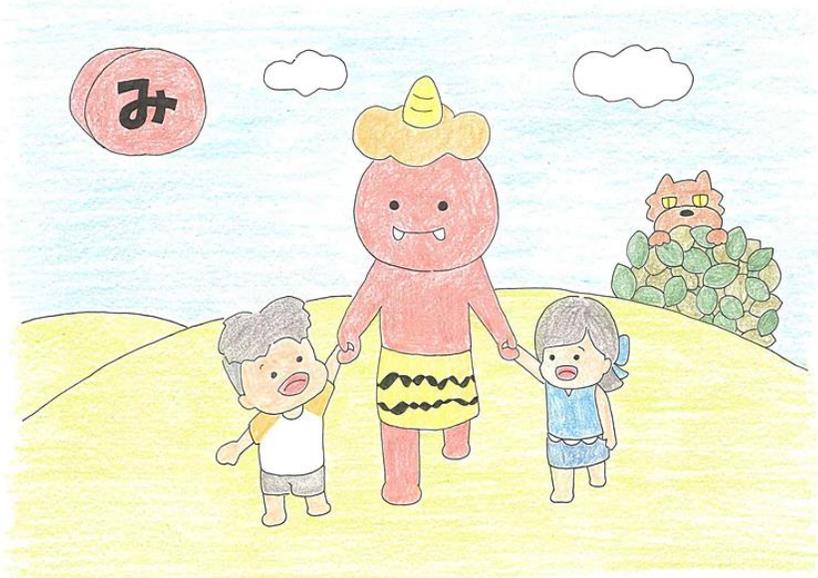
やまおり

「み」は、みんなといつもいっしょ！

わるいひとはひとりであると  
ちかづいてくる。  
だから、できるだけいつも  
ともだちといっしょにしよう。

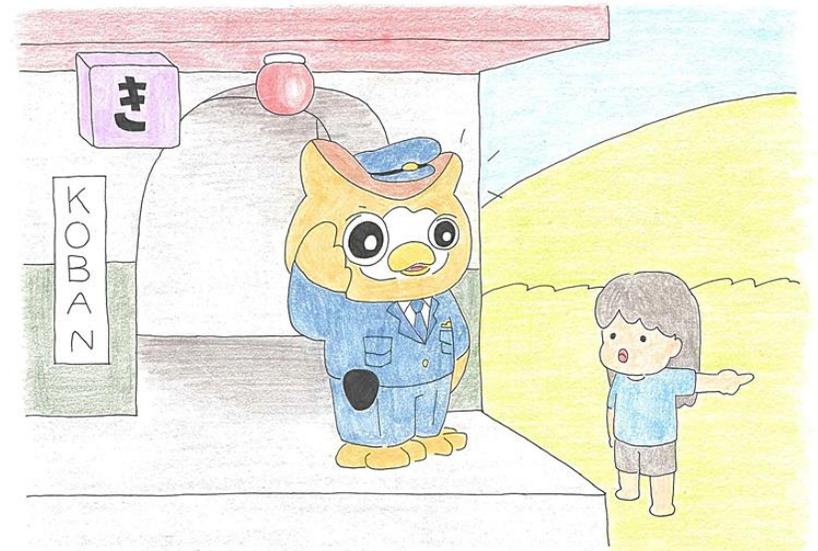
13

きりとり



14

やまおり



15

「き」は、きちんとしらせる！

わるいひとは、おとなのまえでは  
おとなしくしていることがおおい。  
なので、おとなのひとはわるいひとに  
きがついていないかも。  
おまわりさんやおとなのひとにおしえてね。

16

やまおり

「お」は、おおごえでたすけをよぶ！

わるいひとはおおごえがきらい。  
とっさにおおおごえがでないことも  
あるので、ぼうはんブザーを  
みにつけておくとあんしんだね。

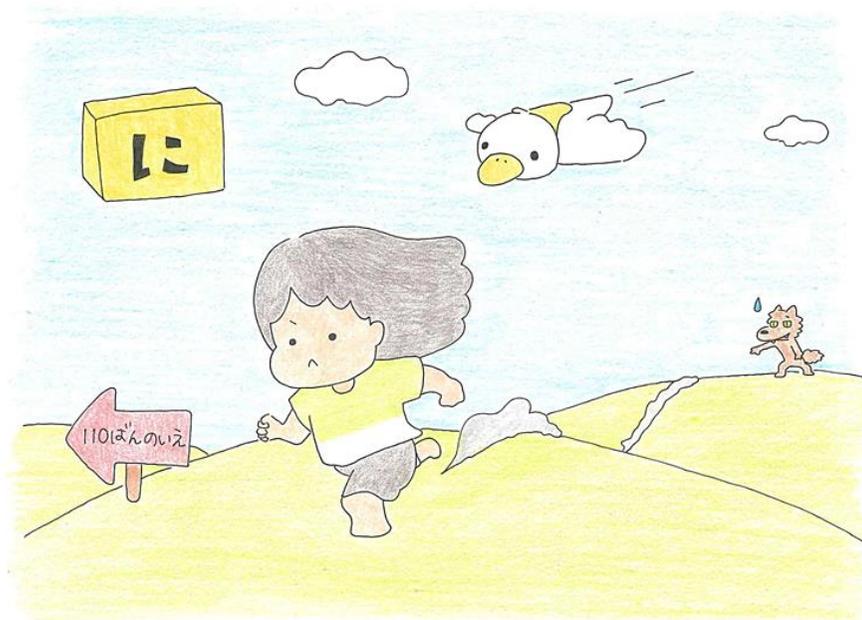
17

きりとり



18

やまおり



19

「こ」は、にげる!

わるいひとは、じっとしていると  
ちかづいてくるよ。  
だから、ちかづいてくるまえに  
あんぜんなばしょまで  
にげちやおう!

20

きりとり



22

やまおり

「つみきおに」

おぼえてくれたかな。  
コノハけいぶとあかおには、  
みんながあんしんしてらせるように  
ねがっています。

21

やまおり

おしまい。



利用の際は必ず下記サイトを閲覧下さい。  
[www.bunka.go.jp/jiyuriyo](http://www.bunka.go.jp/jiyuriyo)

きょうりよく せとぼうはんきょうかいはれんごうかい